

至誠館大学

科目名	相談支援			コード	1328		
英語表記	Counseling and Support						
担当教員名	福田 みのり			年度	平成28年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態		授業形式	講義	履修形態	選択		
授業概要							
<p>育児・保育現場における相談の意義および相談支援の視点を理解し、支援ニーズを把握するために用いられるアセスメントについて学び、支援技法について理解を深める。それをふまえて、実際の支援現場において用いることができるような支援技術を体験し、身につける。また、実際の現場で起こったケースを取り上げ、事例に学ぶとともに、個別に支援方法を考えグループディスカッション等を通して他者の意見を参考にしながら自分の考えを深める。</p>							
到達目標							
<p>①相談支援の意義と原則について理解する。 ②子ども・保護者支援に必要なアセスメント、支援技法等に関する理論的背景を理解する。 ③保護者の抱える育児不安等の支援ニーズを知り、実際の支援方法を理解する。 ④現実に保育所や幼稚園等で起きている様々な問題を知り、援助の実践について理解する。</p>							
授業計画							
第1回	育児・保育現場における相談の意義						
第2回	支援の視点：子どもの権利条約						
第3回	子ども支援・保護者支援の支援ニーズの把握に関する基本理論 —アセスメントの考え方						
第4回	子ども支援・保護者支援の支援ニーズの把握に関する基本理論 —様々なアセスメント						
第5回	子ども支援・保護者支援の支援技法に関する基本理論						
第6回	子ども支援・保護者支援の支援技法体験						
第7回	各種相談機関(地域資源)との連携						
第8回	各種相談機関(地域資源)との連携の実際						
第9回	現場での支援のための方法の基礎 —支援ニーズ把握から支援計画の立案まで						
第10回	現場での支援のための方法の基礎 —当該児に対する支援・クラス集団に対する支援						
第11回	育児現場における保護者支援の実際 —保護者をめぐる様々な問題						
第12回	育児現場における問題と支援の事例 —育児不安						
第13回	育児現場における問題と支援の事例 —幼児虐待						
第14回	育児現場における問題と支援の事例 —社会・情動の発達や認知・言語的発達に関わる問題						
第15回	育児現場における問題と支援の事例 —生活習慣に関わる問題						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業中に行う小レポート等の提出物(レポート)、発表などの授業に対する貢献度(授業態度)、期末試験の結果をふまえて総合的に判断する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	15	15	70	0
授業外学習			テキスト、教材				
日頃から保育園・幼稚園等に関する最新の動向に気を配り、保護者支援等に関するニュースについても関心を持つことが望まれる。そのうえで、講義を受けることが理解を深めると考える。			指定なし				
参考書			受講生へのメッセージ				
藤崎真知代・本郷一夫・金田利子・無藤隆(編著) 『育児・保育現場での発達とその支援』 ミネルヴァ書房			相談支援を行うにはその理解と技術の習得はもちろんのこと、基本的な「聴く態度」の形成が肝要です。当然のことながら、日頃の講義においても相手の話を「聴く」態度で臨みましょう。質問は随時受け付けます。				
キーワード							
相談, 子ども支援, 保護者支援, 子どもの権利条約							